

## 市民懇談会でのご質問、ご意見、ご要望への対応一覧の掲載について

平素は、議会運営にご理解を賜りありがとうございます。

さて、過日の市民懇談会で頂戴したご質問、ご意見、ご要望について、別添のとおり掲載します。

頂戴しましたご意見等は、市政や当議会に対する貴重な提言として真摯に受け止め、当市の一層の発展に資するよう努めて参ります。

なお、取りまとめに時間を要する結果となりましたこととお詫び申し上げますとともに、継続的に市民懇談会の運営方法の改善に取り組んで参りますので、今後とも、市民懇談会への参加等、ご協力をお願い申し上げます。

平成29年5月15日

生駒市議会

●「高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり」に関する質問、意見、要望についてのとりまとめ。

### 1. 移動支援

- ①質問と議会からの回答
- ②質問に関する行政情報
- ③質問、意見、要望の一覧

### 2. 健康づくり

- ①質問と議会からの回答
- ②質問に関する行政情報
- ③質問、意見、要望の一覧

### 3. 介護支援

- ①質問と議会からの回答
- ②質問に関する行政情報
- ③質問、意見、要望の一覧

### 4. その他

- ①質問に関する行政情報
- ②質問、意見、要望の一覧
- ③質問、意見、要望の一覧

# 目 次

	移動支援		介護支援		健康づくり		その他	
前文	高齢者交通費助成制度「生きいきカード」を見直して新たに「生きいきクーポン券」とする事業費を…	P1	次期の高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画（平成 30～32 年度）の改定作業を行う…	P5	健康づくりに関する取組は…	P9	ごみ問題、高齢者施策、地域課題、空き家、その他の行政課題等について…	P12
Q&A	<u>Q 東生駒駅を始めとする駅のバリアフリー化は。</u> <u>Q 高齢者の交通費助成が見直は。</u> <u>Q コミュニティバス運行の拡充と将来計画は。</u>	P1 ～ P3	<u>Q 認知症や障害の相談は。</u> <u>Q 介護行政について、行政は市民にどのように期待しているのか。</u>	P5	<u>Q なぜ徳洲会なのか。</u> <u>Q 市民病院（徳州会）の経営は。</u>	P9	<u>Q ごみ有料化は。（料金）</u> <u>Q 紙おむつの分別の仕方。</u>	P12
行政情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>高齢者の運転免許証返納について</u></li> <li>● <u>スルッとKANSAI 対応カードの廃止について</u></li> </ul>	P4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>介護に関する相談について</u></li> <li>● <u>介護保険の手続について</u></li> <li>● <u>要介護者に対する支援体制について</u></li> <li>● <u>介護士の確保・育成について</u></li> <li>● <u>福祉用品の貸与・購入について</u></li> <li>● <u>住宅のバリアフリー改修について</u></li> <li>● <u>特別養護老人ホームについて</u></li> <li>● <u>定期巡回・随時対応型訪問介護・看護サービスについて</u></li> <li>● <u>認知症対策について</u></li> <li>● <u>高齢者のための交流場所について</u></li> </ul>	P5 ～ P8	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>身近なスポーツのできる機会について</u></li> <li>● <u>サロン活動について</u></li> <li>● <u>健康づくり施策について</u></li> <li>● <u>わくわく教室について</u></li> <li>● <u>健診・検診について</u></li> <li>● <u>かかりつけ医制度について</u></li> <li>● <u>救急搬送のルールについて</u></li> </ul>	P9 ～ P11	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>大型ごみの出し方（お得情報も入れて）</u></li> <li>● <u>戸別収集の拡大について。（ごみだし）</u></li> <li>● <u>高齢者のごみ出し支援について（ごみだし）</u></li> <li>● <u>一人暮らしの高齢者の夜間救急時の対応は。</u></li> <li>● <u>一人暮らし・介護が必要・認知症になったら。</u></li> <li>● <u>高齢者を含めた就職弱者の対応は。</u></li> <li>● <u>高齢者の孤立について</u></li> <li>● <u>世代間交流について</u></li> <li>● <u>日常のちょっとした困りごとの支援について</u></li> <li>● <u>空き家対策について</u></li> <li>● <u>職員が減ったが、もっと地域に来てほしい。</u></li> <li>● <u>児童公園に監視カメラを設置して欲しい。</u></li> <li>● <u>イノシシ対策について</u></li> <li>● <u>寿大学の充実を</u></li> </ul>	P12 ～ P16

## 移 動 支 援

平成 28 年 3 月定例会議において、高齢者交通費助成制度「生きいきカード」を見直して新たに「生きいきクーポン券」とする事業費を含む予算案が賛成多数で可決されました。新制度に移行し、カードを使用できる幅が広がる一方、交付年齢は 2 年毎 1 歳ずつ引き上げられ、平成 38 年度には 75 歳以上となり固定される予定です。市議会としては、市民の皆様にとってより利便性が高く使い勝手の良い制度として運用されるよう、実施状況を確認しつつ必要に応じ継続的な改善提案を行って参ります。

頂きました質問に対し、以下の通り回答します。

**Q 東生駒駅および菜畑駅、南生駒駅のバリアフリー化を進めてほしい。**

A 生駒市は、近鉄生駒線の各駅および東生駒駅について「高齢者、障害者等の移動等の促進に関する法律」（バリアフリー法）に基づき、段差解消などのバリアフリー化を近畿日本鉄道と協議しつつ進めています。

具体的な推進計画は、以下の通りです。

<東生駒駅>

- ・整備年度／平成 29 年度
- ・整備内容／内方線付き点字ブロックの設置

<東山駅>

- ・整備年度／平成 29 年度～30 年度
- ・整備内容／エレベータの新設

<南生駒駅>

- ・整備年度／平成 31 年度～32 年度
- ・整備内容／エレベータの新設

<菜畑駅>

- ・整備年度／平成 29 年度～30 年度
- ・整備内容／エレベータの新設

<一分駅>

- ・整備年度／平成 31 年度
- ・整備内容／スロープの勾配の改善、多目的トイレの設置

○ 市議会としては、計画が着実に実施へ移されているのか、経年的に適宜確認して参ります。

**Q 高齢者の交通費助成が見直されるようだが、どうなるのか。**

A 高齢者の交通費助成制度は、これまで 70 歳以上の方を対象とし一人一万円分の交通費等が毎年度支給されてきました。平成 28 年度は、鉄道、バス、タクシー、ケーブルの乗車に使えるカードや回数券が支給されています。

市は、平成 28 年 1 月に開催したタウンミーティングにおいて、高齢者の心身状態像に応じたサービスへと同制度を見直す考え方を示しました。

見直し内容は、▽名称を「(仮称) シルバー生きいきクーポン券」とし使用できる幅を広げる(移動支援、健康づくり、介護支援等)▽交付年齢を 2 年に 1 歳引き上げ、平成 32 年度には 75 歳以上とする——等が柱となっています。

○ 市議会としては、これを受け厚生消防委員会の平成 28 年度テーマ別調査「高齢者交通費助成について」を実施。市が平成 27 年 11 月にとりまとめた「超高齢化社会に対応可能な交通費助成制度及び高齢者福祉施策のあり方に関する市民意識調査」の結果を精査・分析するとともに、高齢者の関係団体(生駒市老人クラブ連合会、地域包括支援センター)にヒアリングを実施。あわせて高齢者の移動支援に関する先進地視察も行いました。報告書は、市議会ホームページで公表しています。

○ 3 月の定例会議では、「(仮称) シルバー生きいきクーポン券」事業を含む平成 29 年度予算案を審査の上、賛成多数で可決しました。

Q コミュニティバス運行の拡充と将来計画はどうなっているのか。また、デマンド交通を導入する予定はないのか。

A 本市では、既存のコミュニティバスを含めた公共交通の運行計画の検討を進めるとともに、公平性の観点からこれまでの事業の成果の評価と計画の見直しを随時行なうため、平成 21 年 11 月に「生駒市地域公共交通活性化協議会」が設置されました。本協議会は、関係する自治会や市民のニーズを的確に反映していくため、住民の代表、学識経験者、関係する行政機関、交通事業者、生駒市などで構成されています。より市民の生活を支える公共交通の計画を検討するため、平成 23 年には「生駒市地域公共交通総合連携計画」が策定されました。

中でも、これまで実施してきたコミュニティバス事業は、生駒市が費用の一部を負担して実施しているものです。限られた財源を有効活用する観点からも、「生駒市地域公共交通総合連携計画」に基づいて既の実証運行してきた北新町線と萩の台線については、市のアンケート実施（現状のニーズ調査）、ワークショップや PR 活動と並行して、2 路線の利用状況と経常的な費用に関する市の負担率などを検証し、平成 29 年 9 月に今後の方向性（①廃止、②継続、③運行形態の見直しのいずれか）が決定する予定です。

これら 2 路線の方向性を踏まえ、本市では公共交通サービス提供の優先順位（※下記参考）に基づき、今後の対応方針について、デマンド交通や新規路線等も視野に入れつつ、さらに検討していく予定です。

<公共交通サービス提供の優先順位の区分>

- ①直ちに検討に着手し、2～3年以内に公共交通サービスの提供を目指す地区
- ②高齢化等の問題が顕在化すると考えられる時期（概ね5年後）に合わせ、公共交通サービスの提供を目指す地区
- ③高齢化等の問題が顕在化すると考えられる時期（概ね10年後）に合わせ、公共交通サービスの提供を目指す地区
- ④現在の公共交通サービスで問題に対応可能と考えられる地区

- 市議会としては、市民の皆様ニーズがしっかりと反映され、かつ経済的にも持続可能な事業として運営されているのか適宜確認し、必要に応じ改善提案等を行っていきます。

頂きましたご意見、ご要望に関し、現在の生駒市の状況を以下にご紹介いたします。

● **高齢者の運転免許証返納にあたっての支援について**

奈良県警察本部では、運転に不安を感じている高齢ドライバーの方等に対して、自主的に運転免許を返納しやすい環境づくりを行い、また、その御家族や地域で高齢者の運転について考える機会をつくり高齢ドライバーの交通事故を防止することを目的とした「高齢者運転免許自主返納支援制度」を設けています。

支援制度に賛同し、参加して頂いた事業所や自治体等は、運転免許を自主的に返納して運転経歴証明書の交付を受けた高齢者の方に対し、商品の割引などの特典やサービスを提供、生活支援を行っています。

自主返納されて「運転経歴証明書」の交付を受けた方への支援制度に基づく特典・サービスは以下の通りです。

▽奈良県タクシー協会加盟タクシーの運賃が1割引

▽奈良交通ゴールド倶楽部定期券（1年券）を1回に限り無料で交付（奈良県在住で65才以上の方限定）

▽「高齢者交通安全支援事業所の証」を提示している店舗や飲食店での割引（奈良県在住で65歳以上の方限定）

返納の申請場所や、「運転経歴証明書」の申請手続きなど、詳しくは、生駒警察署交通課（電話番号 0743-74-0110）の窓口にお問い合わせ下さい。

● **スルッとKANSAI対応カードの廃止について。**

平成28年7月、スルッとKANSAI協議会は平成29年3月31日でスルッとKANSAI対応カードの発売を終了すると発表しています。お手持ちのカードは、平成30年1月31日まで利用できます。

## 介 護 支 援

生駒市では、平成 29 年度は次期の高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画（平成 30～32 年度）の改定作業を行う予定です。皆様から頂戴しましたご意見、ご要望につきましては、関係する高齢福祉課、地域包括推進課、介護保険課に伝え、これら意見を踏まえて次期計画を検討するよう求めてまいります。

頂きましたご質問に対して以下の通り回答いたします。

### Q 認知症や障害の相談はどうしたらよいか

A 福祉全般の相談は社会福祉協議会が随時相談を受け付けています。

認知症に関する相談は、かかりつけ医、もの忘れ外来のある病院などにご相談ください。また、地域包括支援センターでも相談を受け付けています。

障がい・難病に関する相談は、かざぐるま（知的障がい者）、コスモールいこま（精神障がい者）、あけび（身体障がい者）で受け付けています。

Q 市民は介護保険料を支払っており、介護は行政がすべきサービスであるとする。また行政と地域との連携は密に図る必要があると思うが、逆に行政は市民にどのように期待しているのか。

A 行政が市民の皆さまにご期待することは、まず、ご自身が要介護とならないよう、健康の維持・増進、介護予防のための活動を積極的に行って頂くことです。その上で、元気な方々が、認知症の方への見守り活動や地域でのボランティア活動に取り組み、ともに支え合う地域社会の実現に向かうことを求めています。

頂きましたご意見、ご要望に関して、現在の生駒市の状況を以下にご紹介いたします。

### ● 介護に関する相談について

介護サービスや介護予防サービスに関するご相談は、市役所の介護保険課、または市内の地域包括支援センターにて受け付けています。（ただし、地域包括支援センターは市内に7ヶ所あり、お住まいの住所地によって担当が決まっていますのでご注意ください。）

● **介護保険の手続について**

介護サービスの利用を希望される人は、まず生駒市の介護保険課の窓口介護保険被保険者証を添えて要支援・要介護認定の申請をする必要があります。(ただし、申請は、本人や家族のほか市内の地域包括支援センター、指定居宅介護支援事業者や介護保険施設等に代行してもらうことができます。)

申請後には、介護保険課から主治医の先生に「主治医意見書」の記載を依頼し、また要介護認定調査員がご家庭等を訪問し、認定調査を行った結果を審査・判定し、介護認定審査会で総合的に審査した後、認定結果が通知されます。

要介護1～5の認定を受けられた方は指定居宅介護支援事業所に、要支援1・2の認定を受けられた方はお住まいの地域を担当する地域包括支援センターに連絡し、ケアプラン作成を依頼し、介護サービス事業者と契約をしてサービスを利用することとなります。

● **要介護者に対する支援体制について**

平成37年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現していくこととなっています。現在、生駒市においても医療機関、介護事業所などと連携しながら、システム構築のための取組を進めています。

● **介護人材の確保・育成について**

生駒市では、介護人材の技能の向上と介護施設等への定着の促進を図るため、研修修了後、3ヶ月以上市内の介護施設等で就労することを条件に、介護職員初任者研修に要した費用の一部を助成しています。



● **福祉用品の貸与・購入について**

介護保険を利用して、車いすや特殊寝台などのレンタル、腰掛け便座、入浴用いすなどの購入費の支給（利用者負担分を除く額）を受けることができます。

● **住宅のバリアフリー改修について**

介護保険を利用して、自宅での手すりの取付や段差の解消など、小規模な住宅改修費用の支給（利用者負担分を除く額）を受けることができます。また、生駒市では住宅政策の一環として別途バリアフリー改修に対する補助制度も用意しています。

● **特別養護老人ホームについて**

入所施設の整備については、介護保険料への影響が大きいこと、また地域包括ケアシステム構築に向けた在宅介護への転換が図られている状況もあり、中長期的な視点で検討することとなります。

生駒市では、第6期介護保険事業計画（平成27～29年度）に基づき入所施設サービスの整備に取り組んでおり、平成28年度に奈良県において事業者が選定され、事業が進捗中です。

● **定期巡回・随時対応型訪問介護・看護サービスについて**

日中・夜間を通じて訪問介護と訪問看護が一体的にまた密接に連携しながら定期巡回と随時の対応を行うサービスです。生駒市では第6期介護保険事業計画に基づき整備を行い、現在1ヶ所開設しています。地域包括ケアシステムを構築する中で重要なサービスであり、次期計画策定時にも整備を検討する予定となっています。

● **認知症対策について**

生駒市では、認知症予防の取組として、料理教室、認知症予防プログラム、コグニサイズ教室、脳の若返り教室などを実施しています。また、認知症の正しい理解を促進するため、認知症サポータ養成講座や認知症キャラバンメイトの養成を行っています。この他、認知症の早期発見や早期治療につなぐために物忘れ相談事業、認知症初期集中支援事業の実施や認知症の疑いのある方を医療や介護サービス

につなぐ役割を担うコーディネーターとして、認知症地域支援推進員を配置しています。また、認知症の人を見守る支援体制として、徘徊高齢者の模擬訓練、位置情報提供システム（GPS）の貸出や生駒市行方不明高齢者検索ネットワークシステム事業があります。

● **高齢者のための交流場所について**

生駒市では、高齢者の交流のための施設として、RAKU-RAKU はうす、金鷄の杜倭苑、生駒市福祉センターがある他、地域の集会所においてボランティアの方々で高齢者サロンが運営されています。

また、介護予防事業の一環として、パワーアップ教室（きらめき・延寿）、パワーアップ PLUS 教室（幸楽）、転倒予防教室（たけまるホール）、ひまわりの集い（たけまるホール・ディアーズコープいこま）、わくわく教室（せせらぎ、はばたき等）、のびのび教室（せせらぎ、はばたき、セイセイ）、介護予防教室（地域包括支援センター）などが実施されています。

## 健康づくり

健康づくりに関する取組（市立病院に関するものを除く）は、高齢施策課、地域包括推進課、健康課、スポーツ振興課など、複数の部署が関わっています。今後は、関係する各部署が連携して取り組む必要があることから、皆さまから頂戴しましたご意見、ご要望（下表の通り）については、関係する全ての部署に伝えるとともに、所要の対策を検討するよう求めてまいります。

頂きましたご質問に対して以下の通り回答いたします。

**Q なぜ徳洲会なのか。いつまで徳洲会が続くのか。**

A 平成 19 年 11 月に市立病院の担い手を公募し、医療法人徳洲会が指定管理者候補として選定されました。その後、平成 22 年 9 月議会において指定管理者とすることが議決されました。

指定管理の期間は、平成 27 年 3 月に締結した管理運営に関する基本協定書において、平成 47 年 3 月末日までの 20 年間と定めています。

**Q 徳洲病院でありますのに市民病院と名前をしまったのはどういうことですか。徳州病院が赤字で私達の税金が重くなっているそうですが本当ですか。**

A 生駒市が病院を建設し、医療法人徳洲会が生駒市に代わって指定管理者として医療サービスを提供する事業です。また、名称は条例に定められています。

管理運営に関する基本協定書に、生駒市が病院事業に対して赤字補てんをしないことを定めていますので、市立病院が赤字になって税金が増えることはありません。

頂きましたご意見、ご要望に関して、現在の生駒市の状況を以下にご紹介いたします。

● **身近なスポーツのできる機会について**

子供から高齢者までが様々なスポーツを、それぞれのレベルで活動が行える「総合型地域スポーツクラブ」があります。また市民体育大会、生駒ふれあいマラソン、チャリロゲいこま、ファミリースポーツの集いなど身近にスポーツのできる機会を作っています。

● **サロン活動について**

高齢者が、自分で歩いて行ける集会所（自治会館）等に定期的に集まって、元気づくり、健康づくりのための活動を行う場で、地域のボランティアの方々により運営されています。これにより、高齢者の方が住み慣れた地域の中で生きいきとすごせるよう、顔の見える関係を築き、地域でのつながりが広がることを目的としています。

現在、生駒市には 48 ヶ所のサロンがあり、お茶を飲みながらおしゃべりしたり、簡単な運動やゲームをしたり、多種多様な活動を楽しんでいます。高齢施策課では、サロンの立ち上げをサポートしています。

● **健康づくり施策について**

のびのび教室、わくわく教室、脳の若返り教室、コグニサイズ教室、いきいき百歳体操など気軽に集える教室。これらは高齢施策課、介護保険課、国保医療課、障がい福祉課、健康課が発行している「くらしのあんしん」また高齢施策が発行している「いきいきライフの道しるべ」という冊子に紹介されています。

● **わくわく教室について**

おおむね 65 歳以上の閉じこもりがちな高齢者を対象に、月 1 度ゲームや絵画、料理、季節の行事など多彩なプログラムが月替わりで用意される「わくわく教室は」市内の自治会館、集会所やコミュニティセンターなど 9 教室で開催しています。

● **健診・検診について**

生活習慣病などの予防と早期発見・早期治療のために、大腸がん検診、胃がん検診、肺がん検診は 1 年に一度、子宮頸がん検診、乳がん検診は 2 年に一度の健康チェック。集団検診の日程・時間などは 4 月 15 日号広報で確認してください（下に予定表を掲載しています）。個別検診は指定医療機関で実施しています。なお、がん検診は、70 歳以上の方は半額です。又、がん検診は市民税非課税世帯・生活保護世帯の場合、事前に健康課窓口で申請すれば無料になっています。

- **かかりつけ医制度について**

日常的な診療や健康管理等を行ってくれるお医者さんを「ホームドクター（かかりつけ医）」と呼んでいます。

大きい病院では待ち時間が長く、医療費も高額になりがちです。ご家族でホームドクターを決めておくと、ちょっとした風邪等の病気の際にたいへん便利です。

- **救急搬送のルールについて**

e-MATCH というシステムを利用し、救急隊が搬送先を選定しようとした際、症状と重症度、周辺病院の混雑度合いも勘案して適切な搬送先リストを表示。時間短縮、到着後の適切な治療を早期に受けられる可能性が向上します。

## そ の 他

市民懇談会では、移動支援、健康づくり、介護支援以外に、ごみ問題、高齢者施策、地域課題、空き家、その他の行政課題等について様々な意見、要望、質問等が出されました。

ここにその他として掲載するとともに、関係する各部署に伝え、所要の対策を検討するよう求めてまいります。

頂きましたご質問に対して以下の通り回答いたします。

### Q ごみ有料化はそのまま続けるのか。(料金)

A 平成 27 年 4 月から、家庭系ごみの一部を有料化していますが、燃えるごみの減量化・資源化に一定の効果がでており、料金の変更等は考えていません。

### Q 紙おむつを中身の見えない袋で出しては駄目か。(分別)

A 紙おむつについては、当初指定袋で出していただいていたのですが、子育てや介護をされている方の負担軽減を図るため、平成 27 年 9 月から、有料化の対象外として、透明・半透明の袋で出していただくように変更いたしました。紙おむつごみは、燃えるごみと区別がつくように、中身の見える袋での排出をお願いします。

頂きましたご意見、ご要望に関して、現在の生駒市の状況を以下にご紹介いたします。

### ● 大型ごみの出し方(お得情報も入れて)(料金)

一片が 30cm を超えるものは大型ごみとして、電話申し込みにより収集いたします。指定袋に入るものは指定袋に入れて、入らないものは 1 点ずつ大型ごみ処理券を貼って出してください。なお、リレーセンターでは、毎週火曜日午後 1 時から 3 時半まで、リユース可能な大型ごみの無料収集を実施していますので、ご利用ください(リユースできないものは、その場で返却いたします)

● 戸別収集の拡大について。(ごみだし)

燃えるごみの集積所は、概ね 15 世帯につき 1 箇所を設置しており、午前中に収集が終わるようにしています。戸別収集を実施する場合、収集車の増車及び作業員の増員により収集費用が大幅に増加しますので、戸別収集による回収は考えていません。

● 高齢者のごみ出し支援について(ごみだし)

ごみ出しが困難な高齢者や障がいのある方の生活支援の一つとして、自宅の玄関先までごみの収集にうかがう、「まごころ収集」を市内全域で行っています。

本人、親族または近隣者が所定のごみ集積所にごみを持ち出すことが困難な世帯で、次の項目に該当する世帯が対象です。

- ・高 齢 者：65 才以上の人であり、介護保険法の要介護 2 程度以上の認定を受けた人で、ホームヘルプサービスを受けている人
- ・障がい者：身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者の各種福祉制度を受けている人で、ホームヘルプサービスを受けている人

※上記条件に満たない方でも、ごみ出しが困難な場合は、環境保全課までご相談ください。

● 一人暮らしの高齢者の夜間救急時の対応は。

生駒市では、緊急時のためのサポートとして緊急通報システムがございます。

高齢者や身体障がい者の一人暮らし(緊急性の高い疾患があり、加療中の方)等に緊急通報装置を貸与することにより、利用者に緊急事態が発生した時に、あらかじめ組織された地域支援体制により迅速な対応を行います。詳しくは高齢施策課へお問い合わせください。\*平成 27 年度版とは対応が変わっておりますので最新版や緊急通報サービスご利用のしおりをご覧ください。

- 近い未来の展望がみえない。一人暮らしになった場合、介護が必要になった場合、認知症になった場合、どうしたらいいのか。

地域包括支援センターにご相談ください。『くらしのあんしん 高齢者の福祉と健康の手引き』が高齢施策課、地域包括ケア推進課、地域包括ケア推進センター、生駒市社会福祉協議会などに置いてありますのでご参照ください。

- 高齢者を含めた就職弱者の対応は。

地域雇用促進及び雇用対策の一環として、生駒市ふるさとハローワークを開設して若者から高齢者の方まで年齢を問わずご利用いただけます。

- ・若者への支援・・・ひきこもりやニートの若者へ自立のための無料相談会を「若者サポートステーションやまと」が厚生労働省と奈良県の委託を受けて主催し、キャリアコンサルタントや臨床心理士が若者の自立活動・就労・復学といった支援をするために、ご本人・保護者を対象に無料で実施しています。
- ・障がい者への支援・・・就労移行支援は、一般企業などへの就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識および能力の向上のために必要な訓練を行います。  
就労継続支援は(A型=雇用型、B型=非雇用型)一般企業などでの就労が困難な人に、働く場を提供するとともに、知識および能力の向上のために必要な訓練を行います。詳しくは障がい福祉課へお問合せください。
- ・高齢者への支援・・・地域に密着した高齢者の生きがいの拠点として技能と経験を生かせる生駒市シルバー人材センターでは会員を募集しています。

- 高齢者の孤立について

社会福祉士、主任ケアマネージャー、保健士などがスタンバイする高齢者の総合相談窓口である地域包括センターにてご相談ください。また、広報いこまちにて脳の若返り教室などの情報も掲載されておりますのでご覧ください。



- **世代間交流について**

いこいこクラブ生駒（老人クラブ連合会）が地域の子どもたちへの伝承活動を行っています。

- **日常のちょっとした困りごとの支援について**

シルバー人材センターのワンコイン安心お助け隊（30分以内 500円）をご利用ください。電球・蛍光灯の取り換え、ゴミ置き場の網片付け、買い物代行など家庭のちょっとした困りごとをお手伝いいただけます。

- **空き家対策について**

「生駒市空き家等の適正管理に関する条例」を制定し、老朽化が進み倒壊の恐れがある空き家について、所有者への指導・助言をしています。この他、空き家セミナーの開催や空き家相談窓口の開設を行なっております。また、市内の空き家等の有効活用により、市民による地域コミュニティ活動、文化活動及び公共的事業を支援するとともに、地域活性化を図ることを目的として、生駒市空き家等バンク制度を実施しています。なお、昨年度、全市域を対象に独自の空き家の実態調査を実施したところであり、この調査結果をもとに、今後さらに具体的に対策に乗り出す予定です。

- **前市長時代に職員が減り、地域に来る職員が減った。もっと地域に来てほしい。**

現市長は、職員が地域に飛び出すことを奨励しております。また、庁内では地域担当職員の導入の話も出ております。なお、800名以下にするという目標を掲げておりました職員数については、休業中の職員をカウントしない実働ベースで800名を目指すという運用の変更が示されております。

● **児童公園に監視カメラを設置して欲しい。**

全国的に子どもを狙った犯罪や不審者の出没が多発しているなかで、これらの犯罪から子どもたちを守るため、小中学校をはじめ、保育園、幼稚園、生涯学習施設、体育施設等、46箇所市内公共施設に、防犯カメラ103台を設置し、今年の2月から運用を開始しています。

● **イノシシ対策について**

各種補助金を出しております。具体的には、防除柵設置、狩猟免許取得、捕獲檻購入にかかる経費の半額を補助しております。

● **寿大学の充実を**

昨年度、クッキングクラブの定員が増員されております。現市長は、マニフェストにおきまして、寿大学の定員の少なくとも50名増員を掲げておりますので、今後さらに増員がなされるものだと思います。

## 移 動 支 援

分類	小分類	内 容
		高齢者の増加に伴い、予算が増加することは当然である。
		市の提案は、A, B, C案とも実質現行より引き下げになるので、いやです。
		いきいきカードの減額は反対である（多数）
		寝たきりの人にまで渡しているのを、不要と考える人もいる一方、付き添いの方には有効なので、渡すべきという意見もあり。
		高齢者ドライバーの免許書の返上を求められるが、高山など田舎では車がなければ生活できない。その上、移動支援が減れば家を出ることもできない。
		生きいきカードの存続をぜひ（坂の多い町で交通支援は欠かせない）
		現状のまま続けられる限り続けるべき。
		地域柄、鉄道利用の支援は必要である。
		生き行きカードを継続してほしい。
	<b>継続</b>	今まで通り、70歳からの支給で、1万円以上の金額を継続してほしい。
		高齢者交通費助成の継続を（運転免許返上すればますます必要となるから）
		生き生きカードは現行のままで（高齢者増加のみの理由で見直さないで、介護クーポン等での支援は本来の施策で充実を）
		いきいきカードは今のままで継続してほしい。（多数）

		いきいきカードの不正使用や寝たきりの人が使わないなどの問題があっても、実際に9割ほどは利用している。必要としている人が9割いる事実を考えて継続してほしい。
		継続希望者が多数で、金額を減らさないでほしい。又、年齢を上げないでほしい。
		いきいきカードの存続を（国民年金すらない人がいて、生活支援になっている）
		いきいきカードの充実を（1万5,000円に戻してほしい）
		外出は元気になるので、支援をお願いします。
		生き行きカードの1万円がものすごくありがたい。所得も少ないし。
	<b>生きいき カード関連</b>	<b>増額</b>
健康づくりから考えれば生きいきカードの増額も検討するべきではないか		
移動に気軽にタクシー電車を使えるように1万5,000円に生きいきカードを値上げして欲しい（70歳を超え、車を止めようかと思うようになった）		
1万5,000円に戻してほしい。70歳からは維持して欲しい。		
生駒市は坂道が非常に多いので、いきいきカードなどの移動支援はもっと増やすべき。		
<b>全て無償</b>	一律の交通費助成ではなく、必要な人を支援すべき。	
	奈良市方式と比較してほしい。	
	1万円の限度でなく、鉄道とバスは、昔の大阪や、奈良市のようにならないか。	
<b>スルッと関西</b>	「スルッと関西」が使えなくなることについて、広報してほしい。	
	「スルッと関西」、残っている分はどうなるの。	
	“スルッと関西” “そのものが無くなるので、近鉄や大阪地下鉄はどうなるのかと心配される方あり。	

<b>不満・不公平</b>	地域によって、7千円のいきいきカードで十分である市民と、1万円でも足りない市民がいて不公平である。	
	移動支援の現在の方法では、田舎の交通の不便な場所ではタクシー代も高く、すぐになくなる。地域性を考えなければ不平等である。	
	高齢者が楽しんでいきいきした生活を促すためのいきいきカードを減額するのは、高齢に元気になれといいながら、矛盾している。	
	年間1万円頂いていますことがなくなるように聞いているけど本当にそうなんですか。理由を知りたいです。	
	まだもらっていないが、将来もらえるのか心配。	
<b>改善</b>	PITAPAなどICカードを使った交通費支援。	
	使い方で、使われない場合おかしい使い方があるので改善を。	
	いきいきカードは必要な人と不要な人がいて、財政のことを考えると見直しも理解できる。	
<b>その他への支援</b>	生きいきカードは、バラマキ。金持ちの元気な高齢者にはいらん。	
	生き行きカードの予算を子育てに。	
<b>移動支援の充実</b>	<b>レンタカーを使った助成</b>	ボランティアを中心として、住宅地とより広域に介護タクシーを用いたサポートを生駒市の福祉交通システムと繋げたい。 運転者はボランティアにお願いするので、マイクロバスを貸与したり、レンタカーの助成をしてほしい。
	<b>他市への移動</b>	大阪（四条畷など）への移動支援も考えてほしい。
	<b>他の支援</b>	生駒市の財政は恵まれている。移動支援以外についても充実を図るべき。
	<b>足の不自由な方への支援</b>	高齢化が進むとともに足腰も悪くなり、取り残された方々の足となる方法を。

	<b>一人暮らしへの支援</b>	高齢者一人暮らしの移動支援を。
		階段や坂のところに住んでいるので、高齢者の一人暮らしは大変。
	<b>コミュニティバスの拡充</b>	コミュニティバスの路線が少ない。
		コミュニティバスの本数が少ない。
		コミュニティバスの待ち時間を20分程にすべき。
		高山など、若い世代が少なく住民が少なく交通の不便な地域では高齢者がコミュニティバスを本当に必要としている。走らせるべき。
		コミュニティバスの財源として、スーパー、ホームセンター、ドラッグストア、病院などと提携して、お客を運び宣伝する費用を財源に充てる。
		コミュニティバスが今後も継続できるようにルート時刻表の再考。
		コミバスの本数増、安くしたらもっと使う。ルートの見直しも。
		議員報酬を減らしてコミュニティバスの財源に充てる。
		コミュニティバスは、土日の運行を実施して欲しい。
		コミバスを増やしてほしい。
		コミバスを続行してほしい。「費用対効果」で廃止されたら困る。
		買物に利用できるコミュニティバスを開設してほしい。
		コミバスの本数（頻度）や路線（範囲）を増やしてほしい。
		コミバスの土日運行を希望。
コミュニティバスをなくさないでほしい。		

公共交通について		コミュニティバスを充実してほしい（コースの工夫等）
		生駒は坂が多く、高齢者には不便である。“たけまる号”の利用の現状と将来の方向性を教えてほしい。
	デマンドタクシー・バスの運行	南生駒駅からタクシーが利用できると嬉しい（自宅までワンメーターで行ける）
		乗り合い型デマンドタクシーを実施してほしい。
		デマンドバスタクシー等を考えてほしい。
		デマンドバスデマンドタクシー
		デマンドタクシー等の乗合いタクシーを活用できるように、行政で運営を支援して、高齢者の就職先としても考えてほしい。
	市民病院へのバス	南地域から市立病院への循環バスがほしい。
	バス代の緩和	バス代がこたえる。ふれあいセンターのお風呂は無料でもバス代が負担。
		バスが通っていない。
		バス代電車代が高い。
		市内全域にバス電車等の無料交通手段を。
		バス代無料化。
		生駒に住んでいて、交通費は他県他市に比べ高すぎる。助成もさることながら近鉄や奈良交通に安くなるよう要望してほしい。
		南生駒駅の階段などが大変。
南生駒駅は階段が多く、膝が痛いときなど大変。すべりやすいので、雨のとき怖い。		

	<b>南生駒駅の バリアフリー 化</b>	南生駒駅は、南地域の拠点駅でもあり、バリアフリー化して欲しい。	
		南生駒駅のバリアフリー化を早く実現してほしい。	
		南生駒駅のバリアフリー（今、取上げ中ですが、市の方の方針を伺いたいです）原文のまま記載方針？	
	<b>東生駒駅の バリアフリー 化</b>	東生駒駅のバス停から改札までの階段が大変。	
		東生駒駅のバリアフリー化を。昔から問題、市立病院の最寄駅である。	
	<b>菜畑駅のバ リアフリー化</b>	菜畑駅、エレベーターが無いので困る。	
		駅員のいない改札口がある。	
		菜畑駅にエレベーターの設置を。	
		菜畑駅のバリアフリー化を。	
	<b>道路環境の 整備</b>	<b>道路の拡幅</b>	萩原へと上がる道と小平尾に上がる道が重複している。
		<b>バリアフリー 化</b>	山坂の多いことで老人は移動が大変、山坂の道路に手すりをつけてはどうか。
		<b>植木の剪定</b>	安全のため狭い道路にはみ出す植木の剪定を（市道なら市でできるだろう）
<b>歩道の整備</b>		歩道の上下がある。	
		坂道、歩きにくい場所がある。	
		買い物に行く道で歩きにくい所が多くある。（マックスバリュの前の歩道）	
		斜めになっているところなど、身体のバランスがとりにくく歩きにくい。	
		歩道に鉄板を敷いてある所や、溝の上のグレーチングは滑りそうで怖い。	



		<p>国道168号の道路が狭くて、歩きにくい。</p> <p>ウォーキングしやすい道路にして欲しい（道路がガタガタ）</p>
	<b>危険場所の解消</b>	橋や踏切など高齢者には危険な場所を解消して欲しい。
	<b>道路標識の整備</b>	高齢者を守るため、交通標識の整備を（日本語で分かりやすく、飛び出し坊やの設置等）
		高齢者を守るため、横断歩道の横断時間を長く、黄信号時間を長く。
		小瀬橋の歩道から郵便局へ行くための歩道（印）を作成してほしい。
<b>買い物支援</b>	<b>地域連携</b>	買い物が大変 地域の助け合いが必要。
	<b>配達支援</b>	日常の買い物 荷物を家に運ぶことが困難。
	<b>移動販売</b>	地元の商店が減り買い物が困難。
移動販売に補助を。		
<b>運転免許の返納</b>	<b>返納時の支援</b>	免許返納者に対してメリットは？ バックアップをするべき。
		高齢者が免許を返納した際の支援（毎年1万円とか）。
		高齢者の免許証返納を促進するとともに、返納者に対しての見返りも考慮してほしい。
	<b>延長</b>	運転免許は高齢でも移動に必要なので返上年齢の引き上げを。
<b>交通マナー</b>	<b>安全啓発</b>	高齢者を守るため、交通マナーの向上を。
		歩行者にも安全に対する啓蒙、教育が必要である。

## 介 護 支 援

分類	小分類	内 容
介護サービス	支援の充実	高齢者の夫婦が共に健康状態が悪化したときは早急に支援してほしい。
		自分でやらなければならないのは難しいので、ここに支援が欲しい。
		要介護者の増大に向けての支援体制を構築してほしい。
	サービス向上	介護の現場が荒く、介護士のレベルが劣化している。
		介護サービス向上への指導をしてほしい。
	助成	パウチ購入支援の充実。
80代の希望者に「手摺」を付けてほしい。		
介護施設	施設への要望	特養の順番待ち期間が長く、金額も高く、利用が困難である。
		施設に入れるか不安。
		介護施設が少ない。
		特養のような施設の拡大 県かもしれない。
		介護で困っている人に特養の拡大を要望。
		老人ホームの充実を（だれでもすぐに入れるように）
		認知症の母を長くかかえた。延寿にお世話になり本当にありがたかった。長く待つことなく困っている人が入れる、利用できる施設を希求いたします。

		<p>第2工区に介護施設を。</p> <p>24時間随時対応介護サービス業者が1事業所しかない。少なくとも小学校区に1ヶ所ほしい。</p> <p>介護保険の認定を受けてなくても使える施設やメニューを。</p> <p>介護支援と幼稚園児の教育、地域交流の機能を併せ持った施設を作るべき。</p> <p>生駒市にある民間提供の高齢者向け住宅を紹介してほしい。</p> <p>介護支援グループの名・場所等の公示公報。</p>
介護保険制度	手続き・認定	<p>介護保険の手続きの簡素化が必要。</p>
		<p>介護応援の保険がないので不安。</p>
		<p>高齢者介護保険の要介護認定が厳しい。</p>
	制度への要望	<p>今後ますます介護費用が増大し、将来的に67億円から122億円にと55億円も増えることになるが、その額をどの様に捻出するのか、真剣に考えてほしい。</p>
		<p>介護保険料の引き下げを。</p>
		<p>生駒市の事情に応じた介護保険にしてほしい。</p>
		<p>介護支援の手続きが分からない。制度の内容も分からない。</p>
		<p>市民は介護保険料を支払っており、介護は行政がすべきサービスであると考えている。また行政と地域との連携は密に図る必要があると思うが、逆に行政は市民にどのように期待しているのか。</p>
		<p>要介護者増加で今後どうなるかが心配。</p>
	ボランティア	<p>ボランティアをしているがデイサービスが閉鎖的。</p>
<p>ボランティアを制度に組込んだり、ボランティアがないと成り立たない制度にして。</p>		

相談窓口	相談方法	自治会の中で地域の困りごとを解決する仕組みづくり。
		1人住まいでいつも不在の人と連絡を取れなくて困っている。確認するための市の窓口がほしい。
		認知症や障害の相談はどうしたらよいか。
		介護のこと、自分で聞きにいかなければならないが、それが難しい。
	相談場所	地元自治会館や集会所で“出前”相談会や説明会を開催してほしい。
		高齢者が相談できる場所を。
		包括センターの増加。
		いろんな相談ができる場 アドバイスが貰える場がほしい。
認知症対策	認知症対策	認知症が増えており、認知症サポーターを増やすべきである。
		認知症の実態が深刻になっている、把握すべき。
	交流場所	介護をしている人が、介護者を連れて交流できる場所が必要。
		デイケア以外の日は家でテレビを見たりと、独りで過ごし出ていくことがない。
		居場所があれば外に出ていくきっかけになるかも。
		高齢者が集える公園が少ない。
		いろいろな年代が集まれる場所を。
		階段や坂のところに住んでいるので、高齢者の一人暮らしは大変。
		マンション建設のときは公園もつくるように。

<b>地域社会</b>	<b>地域コミュニティの構築</b>	地域のコミュニティづくり。
		コミュニティがない。
		ご近所のつながり。挨拶タウン
		地域コミュニティ
		高齢者の一人暮らしの方で自治会に入っていない方が多く交流が少ない。
		日頃から声を掛け合える地域づくり。
		地域により年齢構成がまちまち。
		地域コミュニティの回復活用を。
	<b>支える人材</b>	地域の高齢者支援を行っている人が高齢化している。
		民生委員、自治会、地域包括支援センターの役割分担を明確にしてほしい。仕事を整理しないとやる人がいなくなる。
		民生委員の増が必要。
		89歳の母を介護中で、家に居るときは24時間付きそわなければならない。自治会長をしているが、代わりが見つからない。

## 健 康 づ く り

分類	小分類	内 容
<b>体力づくり</b>	<b>機会の拡充</b>	総合スポーツクラブとか健康スポーツ教室などでは、女性が圧倒的に多い。男性も気軽に参加出来る方法を考えるべき。
		外出するチャンスを 健康寿命がのびる。
		健康な高齢者を増やすために、いつでも気軽に無料で使えるスポーツ施設が必要。
		運動できる施設が身近な所がない（2～3キロ圏内）
		健康づくりの方法（運動器具等）を提案してほしい。
		グランドゴルフ大会を年2～3回開催に
		スポーツセンター使用の資金援助をしてほしい。
	夏、ラジオ体操に近くで参加できる場所を知りたい。情報がほしい。	
	<b>健康維持</b>	健康生活は、先ずゆとりから。
		一人暮らしになってから、栄養のバランスなど食事の心配。
<b>各種教室の充実</b>	動けるときに料理教室に通うなどの動き。	
	体操教室の利用しやすい形の再考	
	去年3ヶ月1,200円で体操教室がありました。1回きりでしたが続けて欲しかったです。費用が上がっても続けて欲しい。	
<b>周知</b>	生駒市の高齢者向けの健康施策は沢山あるが、市民が知らなさすぎるので、広報の不足を感じる。	

介護予防	予防方法	家で過ごす時間が多い方が、出かける機会を増やす方法を考えるべき。
		運動習慣 若い頃からの継続。
	地域交流	地域別に「歩く会」等を開催し、ストレスの解消や足腰の鍛錬に資する。
		地域交流サロンで高齢者の体操等の開催時、健康トークをし、認知症対策も併せて勉強すべし。
		住民の交流を盛んに（健康づくりにはサロンがよい）
	支援	生駒市の病気にならない体づくりや健康づくり施策は様々あって、行政がしっかりと利用を促せば、健康な高齢者が増える。
		高齢者の健康には体と脳と精神面がある。それらを全て、健康に保つための施策を考えるべき。
		認知症を防ぐ委員会等を。
		個々人が行う健康づくりへの支援を。
		パワーアップなどの支援を楽しく出来るように見直してほしい。
“わくわく教室”は補助金があるが、“わくわくサロン”には補助金がない。何故アンバランスなのか、同じように補助してほしい。		
健診の充実	特定健診、がん検診等の料金の低減もしくは無料化。	
	検診の充実を。	
	健康診断を、隣の平群町でも生駒と同様に受けられたり、連携ができないか。市外の場合、一度市役所に行かなければならず不便。	

医療	医療の周知	データとして、健康寿命の生駒の実態を把握しているか。健康づくりのためにも目標が必要。
		かかりつけ医制度、ほとんど知られていない。もっと周知を。
		かかりつけ医が紹介する病院を、患者が選べれるようにしてほしい。
	救急対応	救急車が到着してから、病院を探すのに40分かかった。「脳」といったら受け入れてくれるところが少ない。
		どんな患者を優先するかなど、救急搬送のルールを明確にしてほしい。
	市民病院	カルテの統一は誰にでも見られる危険性があるので反対。
		生駒市民病院は医師不足である。
		市立病院の活用。悩み事相談する場にリハビリなどの講師派遣。
		市立病院。医師不足。もっと有効活用できるように。
		待ち時間は長いのに、診察は簡単で早過ぎる。もっと丁寧に診察してほしい。
		市立病院の医師確保に積極的な市の支援を。
		生駒市立病院が夜間診療しているのに、紹介されていない。地域連携を早急に行って、市民がいつでも安く使える病院にしてほしい。
		市立病院の施設の充実を早くしてほしい。
		なぜ徳洲会なのか。いつまで徳洲会が続くのか。
		徳洲病院でありますのに市民病院と名前をしまったのはどういうことですか。徳州病院が赤字で私達の税金が重くなっているそうですが本当ですか。



## そ の 他

分類	小分類	内 容
ごみ問題	料金	大型ごみの料金300円は高い。高いので出せないで困っている。以前のように無料にしてほしい。
		高齢となり家庭の物を整理したいが、粗大ごみが高く整理できない。
		ごみ収集を無料にしてほしい。
		ふとんを無料にして欲しいです。クッション、ざぶとんなど（ごみの有料化）
		個別出しのごみ1件300円は高い、ごみの有料化も他の自治体でうまくやっているところがあるので見直してほしい。
		一般ごみも一定数無料にして、袋を配布してほしい。
		ごみ有料化はこのまま続けるのか。
		ソファもフライパンも同じ300円というのはおかしい。
	ごみだし	ごみ 高齢化で、収集ネット等の設置（交代制）や収集場所までごみを持っていくのが大変。缶びんもあり重たい。収集方法の検討を。
		地域の助け合いで解決。ごみの解体のお手伝い。
		ごみ置き場が近くになく困っているので個別収集増やして欲しい。
		戸別収集しているところがあるが、高齢化に伴いそのエリアを増やしてほしい。
		高齢者のごみ出しがたいへん。個別収集にするなど、援助してほしい。
		ごみ出しに難渋 狭い道も進入、搬出できるごみ収集車を。

	鍵付きのごみボックスを導入して欲しい。
	ごみの収集時間について、冬は暗いので、7:00から7:15まで15分遅くしてほしい。
<b>分別</b>	ごみ出し分別のルールが守られていない（区分けが複雑）
	ごみの分別が細かすぎる。仕分け方の判断に困る。
	資源ごみの回収 子供会 業者を上手に使う
	ごみの有料化に反対、紙おむつは半透明袋では出し辛く、中身の見えない指定袋で出している。紙おむつは中身の見えない袋で出しては駄目か。
<b>その他</b>	ごみ袋の変更に伴い、ヒモがちぎれ易くなった。
	ごみの分別で、「プラごみ」という名前がまぎらわしい。「容器包装」を付けるべき。
	ごみ収集場所にきれいなコーナーを作ってほしい。
	ごみのことについて、もっと説明してほしい。
<b>孤立・ひとり暮らし</b>	地域は、急速に1人暮らしが増えている。75、6～80歳。そこに認知症が増えている。隣近所で週一でも集まって話して、それが安否確認にもなる。
	1人暮らしになった場合の連絡の仕方が不安。自分が倒れたら、誰も連絡できない。
	1人暮らしの不安、特に1人暮らしの高齢者の夜間救急時の対応。自治会でも、救急車は呼べるが、それ以上はできない。民生委員や自治会、地域任せ。市の方で対応の検討を。市でできないとき、ボランティアセンターの設置などを。
	近未来の展望。具体的な姿が浮かばない。具体例を示してもらえれば有り難い。例えば、1人暮らしになった場合、介護が必要になった場合、認知症になった場合、どうしたらいいのか。
	高齢者の孤立

高齢者施策  
／  
世代間交流

<p><b>高齢者の交流</b></p>	<p>日常の買い物。配達は自治会近所の人が世話焼くこと。</p>
	<p>若い者が外に出ていき、子どもがいない。高齢者ばかりになってきている。</p>
	<p>高齢者活動の活性化が少ない。</p>
	<p>高齢者同士をくっつける取り組みを。コーディネーターをつくり、そのコーディネートの仕事に予算を出すことを。その際、実態にあった予算を。お茶菓子代にも使えるように。人が集まらな いと始まらない。</p>
	<p>高齢者との接点 現役世代との交流の場（働く場も含む）</p>
	<p>元気な高齢者の方と、若い子育て世代の出会える場など、世代を超えた交流の場があればいい な。</p>
	<p>世代間交流</p>
<p><b>社会貢献・就業</b></p>	<p>高齢者自身の社会貢献。</p>
	<p>高齢者を雇用する企業を応援。</p>
	<p>高齢者の活用 才能、技能を持っている人がたくさんいる。</p>
	<p>スキルの高い高齢者が再雇用されるようにしてほしい。</p>
	<p>健康で体力もあるので、市のボランティア活動に参加したいが、まったくの無償での仕事では生 活が不安になるので、少しぐらいの収入がほしい。</p>
	<p>シルバー人材に登録したいが、仕事が無いと言われるので、行政からの仕事を増やしてほしい。</p>
	<p>高齢者が働ける職場（高齢者の技術を活かせる）や、元気な退職者を活用する起業を検討して欲 しい。</p>
	<p>高齢者を含めた就職弱者への対策が必要では。</p>

<b>生活等への 支援</b>	電球の取り換え。台に乗るのがこわい。
	足腰が弱くなり家の内外で高い所の作業（例 正月しめ縄を玄関につける）庭などは造園家に来てもらっているが家内の高いところにちょっとという時困る。一人暮らしなので。
	階段や坂のところに住んでいるので、高齢者の一人暮らしは大変。
	病院に入院する際の保証人の確保が大変。1人暮らしだとできない。
	高齢の方は遠慮せずに〇〇してほしいと言って欲しい。（例えば気分がよくない時は席を替わって下さいと）
	交通支援だけでなく、いろいろなものを支援するカードを。
	ボランティア 健康な高齢者が困っている高齢者を支える仕組み
	「くらしのあんしん」のような手引きを、高齢者に分かるように配って欲しい。
<b>高齢施策</b>	高齢者増加で福祉がどうなるかが心配。
	高齢化で今後福祉がどうなるか心配。
	高齢者施策と子育て層や子どもへの施策のバランスを平等にすべき。
	前期高齢者と後期高齢者を併せて対策を検討すべき。
	老人会への会費が減少しているので支援をお願いしたい。
<b>RAKU-RAKU ハウス・金鷲 の杜</b>	RAKU-RAKUハウスの1回あたり200円は負担が大きい
	金鷲の杜やラクラクハウス 200円必要ないのでは 受益者負担の前に、もっと利用してもらえ る工夫を
	RAKU-RAKUハウスを無料にしてほしい。

地域課題	自治会組織	自治会の存続が心配（近所のつながりがなくなっていく、うすくなっている）
		自治会活動に関心がない。
		自治会の役員がなり手がいない。
		高齢化で自治会役員の選出が困難に。
		自治会、潰れかけているところもある。支援を。
		自治会役員をしているが、高齢者が多くなり手が足りない。
		自治会の仕事が多すぎる。市や県の広報の配布など、なぜそこまで担わなければならないか分からない。
	自治活動	集会場の活用化のための良き提案を（会合の方法等）
		自治会の災害支援の仕組みがもう一つ。
		地域担当職員の配置。
		市民自治協議会。
	地域のリーダー	ボランティアを増やすこと。挨拶運動。
		講座はいろいろ作るが、コーディネーターが学んだことが活かせる仕組みづくりを。
		制度にたけた人 住民以外でもリーダーが必要。
	民生委員	女性のところに、男性の民生委員が来るのは困る。民生委員の方も行きにくいとのこと。
		民生委員への負担が大きすぎるので、民間企業への業務委託を進めるべき。

	<b>住民間の トラブル</b>	夏休みのこどものラジオ体操に対して、地域の苦情があり、遠慮しなければならない。
		無駄な一方通行を解除しようとしても一部の強い反対意見でまとまらない。
		第一種風致地区 木が大きくなり日が当たらない。
		行政が民地に対しての処理ができないので市民は困る。
<b>空き家</b>	<b>対策要請</b>	空き家が増えている／空き家の木が伸び放題で落ち葉で困っている／空き地の樹木が伸び放題（仲之町）
		ごみ屋敷となっている所がある。
		空き家対策（スズメバチ駆除等）に苦慮。
		古い住宅、廃墟はどうなっていくのか。
		空き家が増えてきた（高齢者で転居）
		荒れた空き家対策の充実を。
		空き家対策
		空き家
		空き家対策に力をいれてほしい。
	空き地の整備を	
	<b>提案</b>	空家を用いたミニコミュニティハウスを造り、それを中心に近隣交流を図る。
		市役所 何でもやる課 何でも相談窓口 すぐやる課
		どこに相談していいかわからない。入りやすい聞きやすい市役所

その他行政  
課題

市役所の 体制・対応	役所の電話対応が悪い。
	西五ヶ町で120軒。何事も行政としては費用対効果が少ない。市の対策、施策は、平地の多人数自治会が主になりがち。（都市部と過疎地の格差）
	市役所からの広報に日本一住みやすい街とよく言われるが、それは市民が決める事で、行政からは言って欲しくない
	困ったときに、ここに連絡したら解決できるという、ワンストップサービスをして欲しい。
	前市長時代に職員数が減り、地域にくる職員さんが減った。もっと地域に来てほしい。
	職員は、現場に来て実際に見て考えて欲しい。
	高齢施策課は、民生委員に言う。しかし、自治会には言わない。このような縦割り行政でなく、各課が連携した横断的な対応を。
	生駒市の施策や都市計画など、無駄が本当はないのかももっと厳しくチェックしてほしい。
	街づくりに計画性を もっと街中に緑を。
	目の不自由な人の支援があるか知りたい。
市の情報 発信	現在のいこま広報紙は素晴らしいと思います。（判りやすくきめ細かい）
	公的なサービスの情報が入らない。
	インターネットを使わない方への広報の仕方。
	情報が伝わりにくい（ごみ出しのルール等）、インターネットの苦手な人もいる。
	伝わる情報発信と市民もアンテナをたて情報をキャッチする。

<b>道路・交通</b>	北部に比べ南部の整備（道路等）が遅れている。
	道路やU字溝のいたみが多い。
	168号線の歩道整備。
	歩道の整備。
	坂のまちの対策を 例) 健民グラウンド、体育館への屋外エスカレーターを設置など、縦の移動支援を。
	生駒駅、特に南側のバス停の整備を。車での送迎が難しい。
	生駒駅前に買い物に行っても車を止められないので、1時間無料の駐車場が必要。
<b>治安・防犯</b>	青色パトロールのようなボランティアをする人の保険制度。
	街灯を増やしてほしい（緑ヶ丘）
	児童公園に監視カメラを設置してほしい（市役所近隣）
	見守り隊の予算化。
	東新町の交差点に警察官の配置を多くしてほしい。
<b>企業誘致</b>	環境のよい生駒に産業を呼び込む。
	働き方 若い人は生産的職業に 企業誘致
<b>鳥獣対策</b>	イノシシが家に入ってくるなど危険。市民生活の安全をどう確保するのか、市も獣に対する危機意識をもってほしい。
	イノシシ対策に対して、農家には補助があるが、一般住民にはない。
	イノシシ被害の防止を。



<b>生涯学習</b>	いいところ 寿大学4年生 友達が増える
	施設利用料を取るようになってから、自主学習グループが5分の1になった。
	図書館で、本のコピーをするのに、住所氏名を書き、しかも1ページだけに制限される。改善してほしい。
	寿大学支援を（特に活動場所）
	自主学習の更なる充実を。
	スポーツ施設利用の簡素化
<b>上下水道</b>	水道管が古くなり水漏れ等が多発意している。
	浄化槽の設置、ランニングコストの負担が大きいのので、補助してほしい。
	高山に公共下水道を。
	合併浄化槽にしたが、家族が減って、費用負担が重いので、汲み取りに戻したい。
<b>その他</b>	山麓公園遊具が少ない。パンが高い。
	リニア誘致に反対いたします。
	働く人が制限なく利用できるよう、もっと認可保育所（小規模のもの）を増やしてほしい。
	すべての公園にトイレを。
	健民グラウンドのトイレを使用できるように。
	リフォームの援助を。
	民家近くに市民農園を増やしてほしい（車公害を防ぎながら）